

下水道分野における環境教育の推進に関する懇談会

設立趣旨

下水道は、トイレの水洗化、汚水の処理や市街地の内水氾濫の防止などによる都市の環境改善や河川・湖沼・海の水質の保全が基本的な役割である。近年、地球温暖化対策や良好な水環境の回復など、環境問題の解決のための新たな時代のニーズに応じた下水汚泥のバイオマスエネルギーとしての活用、再生水の水資源としての利用といった多様な役割が注目されている。

学校における環境教育については、社会科や理科を中心に、その内容の充実が図られているほか、総合的な学習の時間においても多くの学校で取り込まれており、その一層の促進のための施策が講じられている。

下水道は、身近な存在であり、その役割や機能の理解を通じて生活環境から地球環境までの幅広い環境問題にも関わっており、下水道分野においても環境教育の充実に貢献していくことができることが多いと考えられる。

このため、本懇談会では、小学校における環境教育に関するニーズや課題を踏まえながら、各教科のカリキュラムに応じたわかりやすい教材づくりと、現地での活動を含めた実際に下水道を素材とした環境教育を具体化するためのプログラムづくりを軸として検討を行うものとする。